

公表

事業所における自己評価結果

| 事業所名 | | 公表日 | | | | |
|--------------|--------|--|-----|---------|---|--|
| こどもプラス吉野ヶ里教室 | | 令和 8年 3月 16日 | | | | |
| | チェック項目 | はい | | 工夫している点 | 課題や改善すべき点 | |
| | | はい | いいえ | | | |
| 環境・体制整備 | 1 | 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。 | 5 | 1 | 利用定員に応じて療育スペースでは動・静の遊び、静養スペースでは静の遊びができるように環境の工夫をしているため適切である | |
| | 2 | 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。 | 5 | 1 | 教室での職員配置は適切である | 職員の急な休みや送迎のタイミング、イベントの時などで人手が足りないと感じることがある |
| | 3 | 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。 | 6 | 0 | 全室フラットになっており、クッションマットや保護具を使用することで安全性を高めている。トイレも広く作られており、車いす対応も可能となっている | |
| | 4 | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。 | 6 | 0 | 毎日の掃除や消毒、換気によって清潔な空間が保たれている。活動に応じて物品を入れ替えたり、主体的に遊べるような工夫をしている | |
| | 5 | 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。 | 6 | 0 | 体調不良の子どもや気持ちを落ち着かせる場として個別の部屋を使用できることを伝えて対応している | |
| 業務改善 | 6 | 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。 | 6 | 0 | 定期的にミーティングを行い意見を交換し合うことで業務改善に努めている | |
| | 7 | 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 6 | 0 | 評価や意向を職員間で共有し改善に向けて話し合っている | |
| | 8 | 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 6 | 0 | 意見を出しやすい環境を整えており、業務改善に努めている | |
| | 9 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。 | 1 | 5 | 現在は第三者による評価を受けていない | 今後実施に向けて検討していく必要がある |
| | 10 | 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。 | 6 | 0 | 法人内・外を問わず研修の機会が設けられておりスキルアップにつなげている | |
| 適切な支援の提供 | 11 | 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。 | 6 | 0 | スタッフ間で意見を出し合いながら支援プログラムが作成されており、ホームページでも公表されている | |
| | 12 | 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。 | 6 | 0 | アセスメントシートは年1回更新しており、その他にも送迎時や連絡帳を通じて保護者様からの意見を取り入れ作成している | |
| | 13 | 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。 | 6 | 0 | モニタリングや中間評価に職員全員が関わることによって児童に必要な支援内容を把握し計画書作成に反映している | |
| | 14 | 放課後等デイサービス計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。 | 6 | 0 | 職員の情報共有の下計画に沿った支援を行い療育にもつなげていけるよう心がけている | |
| | 15 | こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。 | 4 | 2 | 日頃の子どもたちの行動から得た情報を皆で話し合い共有することで確認できている | |
| | 16 | 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 | 6 | 0 | ガイドラインを踏まえながら児童の特性や困りごとに視点を置き、子どもたちの強みを活かして課題に取り組みするように必要な支援項目を設定、職員全体で共有できる具体的な支援内容としている | |
| | 17 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか。 | 6 | 0 | 職員間で意見を出し合い活動に適したプログラムを提供できるようにしている | |
| | 18 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。 | 6 | 0 | 新しいものを徐々に加えながらプログラムが固定しないように工夫されている | |
| | 19 | こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。 | 6 | 0 | 5領域の内容と照らし合わせ個別や集団での活動を組み合わせ、計画を共有し支援することができている | |
| | 20 | 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。 | 6 | 0 | 出勤者で支援開始前にミーティングを行いその日の支援を確認し共通理解の下支援を行っている | |
| | 21 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。 | 6 | 0 | メモやミーティングなどで出来る限り当日の共有をめざしているが未実施の場合は翌日に共有できるようにしている | |

| | | | | | | |
|--------------|----|--|---|---|---|--|
| | 22 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。 | 6 | 0 | 利用時の気になることや行動、様子を毎日記録として残しており振り返りができるようにしている | |
| | 23 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。 | 6 | 0 | 職員間で定期的にモニタリングを行い適切な判断の下見直しを行っている | |
| | 24 | 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか。 | 6 | 0 | 運動療育やイベント活動、行事の制作活動など様々な活動を組み合わせて児童の自立を促した支援を行っている | |
| | 25 | こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。 | 6 | 0 | 一日のスケジュールの中から子どもたちが自己選択できる環境を整え自発的な行動ができるように支援を行っている | |
| 関係機関や保護者との連携 | 26 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。 | 6 | 0 | 児童の状況についてはモニタリングやミーティングで職員と情報の共有を図ったうえで管理者や児童発達支援管理責任者が参加している | |
| | 27 | 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。 | 6 | 0 | 必要に応じて必要な関係機関と連携を図るようにしている | |
| | 28 | 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。 | 6 | 0 | 保護者や児童を通じて提供される年間行事予定や時間割をもとに確認を行い、問題が生じたときは適宜連絡調整を行うことができている | |
| | 29 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。 | 4 | 2 | 就学前の情報を保護者や関係各所から聞き取り、各事業所との共有に努めている | |
| | 30 | 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。 | 4 | 2 | 現在該当する児童はいない | 必要時には地域交流を図り関連事業所を見学し情報共有を行えるように準備しておく |
| | 31 | 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。 | 4 | 2 | 研修等を通じて支援について考えたり助言をもらえる機会を設けている | |
| | 32 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。 | 2 | 4 | 外出やイベントを通じて地域の方々との交流を図れる機会を作っている | 地域児童との交流を図れるように外出先や参加できるイベントの情報収集が必要 |
| | 33 | （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。 | 6 | 0 | 管理者が参加し必要な情報を他のスタッフへ共有している | |
| | 34 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。 | 6 | 0 | 送迎時やサービス提供時の状況や家庭での課題があれば伝え合い内容をスタッフと共有している | |
| | 35 | 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。 | 3 | 3 | 情報提供は行っている | 現在研修等家族が参加できる内容を行っていないため今後検討していく |
| 保護者への説明等 | 36 | 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。 | 6 | 0 | 契約時に必要な説明を行うとともに変更時には都度説明を行っている | |
| | 37 | 放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の視点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。 | 6 | 0 | 面談や支援会議で得た情報をもとに保護者や児童の意見を重視して作成できている | |
| | 38 | 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。 | 6 | 0 | 支援内容の説明において丁寧に説明を行い保護者の疑問に答えながら同意を得ている | |
| | 39 | 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。 | 6 | 0 | 電話や送迎時、連絡帳を通じてお悩みを受け止め適切に支援できるよう面談や支援を行っている | |
| | 40 | 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。 | 1 | 5 | 現在保護者会は行っていない | 交流の場を設けるために毎月のイベントの参加への呼びかけをするなど機会を設けられるように努めていく |
| | 41 | こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。 | 6 | 0 | 苦情受付窓口の設置等常に対応できる体制を整えており、全職員で適切な対応に努めている | |
| | 42 | 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。 | 5 | 1 | 毎月イベントや安全指導に関するお便りを配布しているとともにホームページに掲載し、誰でもみられるようにしている | |
| | 43 | 個人情報の取扱いに十分留意しているか。 | 6 | 0 | 必要以上の情報が保護者や児童、他者の目に触れないように写真や書類の取り扱いには十分注意している | |
| | 44 | 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。 | 6 | 0 | 手話やジェスチャー、行動を示した絵などを使って伝えるなどの配慮を行っている | |
| | 45 | 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。 | 1 | 5 | 事業所主催のイベントを現在行っていない | 感染症も収束し、移転もしたため今後は検討していきたい |

| | | | | | | |
|---------|--|---|---|--------------------|--|--|
| 非常時等の対応 | 46 | 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。 | 6 | 0 | 一年ごとに見直し策定している。年間予定にのっとり訓練も実施しその他にも必要時に訓練を実施している | |
| | 47 | 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。 | 6 | 0 | マニュアル同様一年ごとに見直しを行っており定期的に避難・救出訓練等必要な訓練を行っている | |
| | 48 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。 | 6 | 0 | 契約時に既往歴や服薬内容を確認し対応方法等細かく伺っている。必要があればかかりつけ医からの指示も保護者を通じもらい受けている | |
| | 49 | 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。 | 6 | 0 | 現在対応が必要な児童がいないが、必要があれば対応していく | |
| | 50 | 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。 | 6 | 0 | 安全計画を作成し必要な訓練・研修を実施。問題の状況に応じて適切な手段がとれるような支援を行っている | |
| | 51 | こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。 | 6 | 0 | お便りやホームページにて周知できるようにしている | |
| | 52 | ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。 | 6 | 0 | ヒヤリハットを作成し全職員で共有し改善について話し合い再発防止に努めている | |
| | 53 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。 | 6 | 0 | 定期的に研修を行い認識をアップデートしていくことで適切な対応を図れるようにしている | |
| 54 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。 | 6 | 0 | 現在身体拘束を必要とする児童がいない | 事業所内で十分に話し合いを行い支援の内容を保護者や児童へ説明し理解を得たうえで計画書に記載していく | |